

AI (エーアイ) と ともだちになろう!



「ひみつ」は いわない。



なまえ・おうち・がっこう・だれかのこと
かぞくやともだちのことはおしえません。

まちがえるかも。



「ほんとかな？」と、おもったら、
せんせいや、おとなに ききましょう。

まほうでは ありません。



ぜんぶ おまかせ しないで
いっしょに かんがえましょう。

じぶんの ことばで。



AIにきいた あとは、
さいごは じぶんで きめましょう。

なかよく つかおう。



だれかが いやな きもちに
なることは しません。

AI（エーアイ）を 上手につかおう！



自分の「ひみつ」を守る



個人情報 は絶対に入力しない。
インターネットで送ったデータは消えない。

「本当かな？」たしかめる



まちがいもあります。本や教科書で
確認をしましょう。

そのままうつすのは×



AIの文をそのままうつすのではなく、
自分の言葉にかえましょう。

大人（先生）との約束を守る



AIを使っていい場面を確認し、迷ったとき
は大人（先生）に相談しましょう。

相手の気持ちを考えて



AIを使って、人をきずつけることは、
絶対にしません。

AI (エーアイ)

活用ガイド!



ハルシネーションを疑う

AIはうそをつくことも。

信頼できる確認を別でしましょう。



無断転載（そのまま使う）×

AIは自分の作品ではありません。

著作権を尊重しましょう。



「情報」は「学習」される

個人情報や秘密写真などは絶対に入力しない。その情報は他の人にも共有されます。



偏り（バイアス）を考える

AIの回答は絶対ではありません。様々な視点をもつようにしましょう。



場面を考える

『学ぼう』の目的を忘れずに。大人と最適なタイミングで活用しましょう。

Cタイムで たのしく まなぼう!

じぶんで えらぶ 3つのこと



はやさを えらぶ

どんどんすすんでも、じっくり
かんがえてもいいですよ。



やりかたを えらぶ

なにをつかうか、だれに きくかを
じぶんで きめます。



ばしょを えらぶ

じぶんが いちばん しゅうちゅう
できる ばしょで まなびましょう。

まなびの すすめかた

1



めあてを きめる

きょうは なにを どこまで
まなぶか、はじめに
きめます。

2



じぶんで まなぶ

じぶんで えらんだ やりか
たで、いっしょうけんめい
まなびます。

3



ふりかえる

できたことや、つぎに
がんばることを
かんがえます。

だいじな おやくそく



ゴールは みんな おなじ

すすみかたは ちがっても、みんなで
おなじ ゴールを めざします。



おともだちの じゃまを しない

みんなが きもちよく まなべるように、
しずかに すごしましょう。



自分で
学習計画をたて、
自分の
ペースや方法で
進めよう！

3つの自由

①進度の自由

「**どんどん**進めよう、深めよう」
「**じっくり**、納得できるまで」

②方法の自由

「**〇〇**を**使う**」「**△△**に**聞く**」
(相談・質問をする)

③場所の自由

「集中できるところで」

自己決定 (選択)



自己調整



協働



自由と責任 (ルール)

- ・「自由＝何でもして良い」ではない。
- ・ **ゴール**は一緒、**進め方**と**速さ**はそれぞれ
- ・ 「何ができて、何ができなかったのか。」
をふりかえる
- ・ 友だちに相談するのはいいが、
「他の人の学びを邪魔しない」





のつくりかた

【Challenge(挑戦)・Choice(選択)・

Control(コントロール)】



めあてを立てる
(10分)

めあてを意識して
自分で方法を選んでとりくむ
(25分)

ふりかえり
(10分)

単元のめあて

単元全体を通して、

- ①「自分は、何を意識（大切に）して取り組んでいくか」
- ②具体的に「何をしていくか」という視点で、
めあてを立てる。

授業のめあて

単元の「自分の計画」に沿って、この学習で、

- ①「何をするか」 ②「どのようにするか」
- という視点で、めあてを立てる。

ふりかえり

この学習を通して、

- ①「めあてが達成できたか」
 - ②「思ったこと」「考えたこと」「次の授業について」
- という視点で、ふりかえりをする。

確かめる

自分と考えが
にている人

安心

仲のいい人

深まる

自分と考えが
ちがう人

だれと学ぶ？

その学習が
得意な人

教えてもらおう

集中する

一人で

その学習が
苦手な人

新しい発見